



KONOSU CITY



なないろの 笑顔咲かせる 鴻巣市





鴻巣市長
並木正年

なないろの 笑顔咲かせる 鴻巣市

鴻巣市は、古くは中山道の宿場町として栄え、約400年の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、また、近年では花壇や寄せ植えに最適な花苗の生産が盛んであることから「花のまち」としてその名が知られています。本市は、昭和29年に1町5村（鴻巣町、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村、常光村）の合併により県内17番目の市として誕生し、その後、平成17年10月1日の吹上町、川里町との合併により新たな鴻巣市としてスタートしました。現在では、東京都心から50km圏内という地理的条件に恵まれ、9年連続で転入超過が続くなど、県央地域の中心都市として発展を続けています。

「なないろの 笑顔咲かせる 鴻巣市」。市制施行70周年のキャッチコピーは、多数の応募の中から市民の皆さんの投票により決定しました。このキャッチコピーには、本市の特産品である花や代表的なイベントの一つである「こうのす花火大会」の花火のように、未来に向けて笑顔を咲かせていこうという想いが込められています。

この度、市制施行70周年を迎えるにあたり、人の一生に例えれば「古希」となる大きな節目の年を市民の皆さんとともに祝い、先人たちが築き上げてきた歴史や文化、まちづくりを振り返るとともに、市の魅力や地域資源を再確認することで、未来に向け、夢と希望に満ちた鴻巣市を築く新たなスタートとして、市民の皆さんの地域への誇りと愛着の醸成を図られることを期待しております。

10年先、20年先の鴻巣市を見据え、次代につながる持続可能なまちとして輝き続けることができるよう、SDGs未来都市である本市が目指す「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現に向け、市民の皆さん、事業者の皆さんとの連携により、経済・社会・環境の好循環の創出を図りながら、引き続き「市民と歩む 新しい鴻巣」を基本姿勢として、市政運営に全力で取り組んでまいります。

今後も、鴻巣市のさらなる発展のため、市民の皆さんの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



私たちのまち こうのす



400年の歴史を紡ぐ鴻巣びな

鴻巣に人形づくりが伝えられたのは、天正年間（1573～1592）。最初は、土で形を作って焼く素朴な土人形や張り子でした。江戸時代中期から、お内裏様とお雛様が対になった人形が作られるようになり、練り人形の製法がとられ、「鴻巣びな」として知られるようになりました。

江戸時代には関東三大雛市の一つに数えられるまでに成長を遂げ、明治になると、高度な技術と優れた品質で「鴻巣びな」の名は全国に知れわたります。当時、人形業者31軒、職人300人という記録から盛況ぶりがうかがえます。

現在も中山道沿いの人形町には、人形づくりに関連する事業者が並んでおり、「鴻巣びな」の伝統が脈々と継承されています。



鴻巣びっくりひな祭り

国指定 重要無形民俗文化財 赤物



江戸時代から魔除け・病除けとして、また、軽くて丈夫な郷土玩具として親しまれてきました。

桐のおがくずに糊を加えて練った生地を型に入れて成形し、乾燥させた後、赤く彩色する製作技術は、2011年（平成23年）に玩具として全国初の国の重要無形民俗文化財に指定されました。



地域の秋の夜の風物詩となっている「こうのす花火大会」は、鴻巣市商工会青年部が主催し「地域の振興・発展と子どもたちに夢と希望を与えたい」と願い実施している手作りの花火大会。四尺玉を含む尺玉300発が打ち上げられる「鳳凰乱舞」は迫力満点です。

花の一大産地

鴻巣市の花生産の始まりは、「パンジー」です。1948年（昭和23年）、寺谷地区の農家が、鴻巣の気候風土に適した花としてパンジーの生産を開始。戦後の食糧難の最中にもかかわらず、パンジーはよく売れ、1953年（昭和28年）には花き生産者が17軒に増加しました。

東京オリンピックが開催された1964年（昭和39年）には、パンジー生産は全盛期に。その後、サルビア、プリムラ、マリーゴールドなど生産品種を増やす一方、山上げ栽培を導入するなどして、発展・拡大し、現在は約150の事業者が花き生産をしています。



パンジー



サルビア



プリムラ



マリーゴールド

全国からランナーが集う 鴻巣パンジーマラソン



平地で走りやすく、3月の土曜日に開催されることから、日本各地のランナーが集結する“鴻巣パンジーマラソン”は、春の訪れを告げる毎年恒例の大会です。

「人にも生きものにもやさしいまちづくり」のシンボル コウノトリ



こうのとり
ブランドマーク



原材料の一部に
鴻巣市産米を使用
した純米酒



コウノトリ野生復帰センター「天空の里」

幸せを運ぶ鳥ともいわれるコウノトリは、“鴻巣”の地名の由来の一つとされています。

鴻巣市では、コウノトリをシンボルに、人にも環境にもやさしいまちづくりを進めており、「おおとり祭り」「こうのとりマルシェ」など、コウノトリにちなんだ行事やイベントが年間を通し開催されています。

鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川 川幅日本一



2008年（平成20年）2月、国土交通省荒川河川事務所により、鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅が日本一であることが確認され、川幅日本一の標柱が御成橋のたもとに建てられました。河口より上流62km地点の両堤防間の幅が2,537mで日本一広い川幅になります。

農林水産省の郷土料理 100 選に選定 いがまんじゅう



川里地域が発祥と言われ、県北東部の主に穀倉地帯に古くから伝わるハレの日の郷土料理。田舎まんじゅうを赤飯で包んだ和菓子で“栗のイガ”のような見た目から“いがまんじゅう”と名付けられたといわれています。



食いしん坊のオスの「空」と控えめな性格のメスの「花」



こうのとりマルシェ



2023年
（令和5年）
第1回 埼玉デザインマンホール
人気投票一般部門3位入賞

常光の梨



ふるさと納税の返礼品として好評

常光地区の梨栽培は、70年以上続く関東の梨の名産地。肥沃な土地と陽光に育まれた梨は、ずっしりと重く、甘さとみずみずしさが特徴です。

続々誕生！ 川幅グルメ



2009年（平成21年）8月、幅約8cmの「こうのす川幅うどん」が誕生し、2015年（平成27年）の埼玉B級ご当地グルメ王決定戦で優勝するなど、こしのある麺の美味しさとインパクト大の見た目からメディアでも多く取り上げられ大人気に。今では、うどん以外のグルメも続々誕生しています。



暮らし続けたいまち

市民一人一人がいいきと健やかで
充実した生活が送れる健康“こうのす”

いつまでも元気で活動的に



運動の習慣化を推進し、生活習慣病予防や地域全体の健康づくりを目的実施とした様々な事業が市内各地で実施されています



運動教室や体操、サロンの開催など、様々な介護予防事業を実施し、いつまでも元気で、活動的で、生きがいに満ちて暮らせる取組を進めています

市民生活を支える安心・安全な公共交通が充実



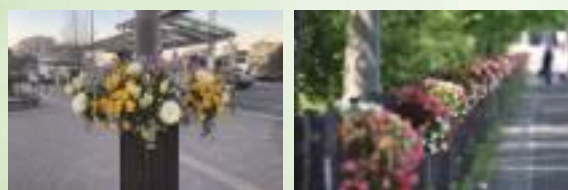
市内全域をコミュニティバス「フラワー号」、「こうのす乗合タクシー」、「ひなちゃんタクシー」が運行しており、こどもから高齢者まで多くの方に利用されています



市民と協働でつくる「花のまち」



団体や市民の活動に支えられ、花のイベントや植栽を実施しています



年間を通し、季節の花が駅前や沿道を彩ります

多くの人でにぎわう地域のお祭り



地域に根ざしたお祭りが継承されています

- 1：鴻巣夏祭り
- 2：吹上夏祭り
- 3：おおとり祭り



通常の映画上映のほか、旧作上映、無料上映、パブリックビューイングなどの事業を通して文化振興を図っています

次代（あす）の夢咲く 子育てNo.1のまち



多様なニーズに合わせた
保育サービス



保育ステーション、病児・病後児保育、一時預かり保育など多様なニーズに合わせた保育サービスの提供に加え、令和6年度からこども誰でも通園制度を実施しています

幼保施設で花育を実践



花や緑に親しみ、育てる機会をとおり、やさしさや美しさを感じる気持ちを育み出す

鴻巣市版 GIGA スクール



全ての小・中学校に“最先端の教育ICT”を導入し、学校でも家庭でもPCを文房具のように使える環境を整備しています



小学校校庭・保育所園庭の芝生化

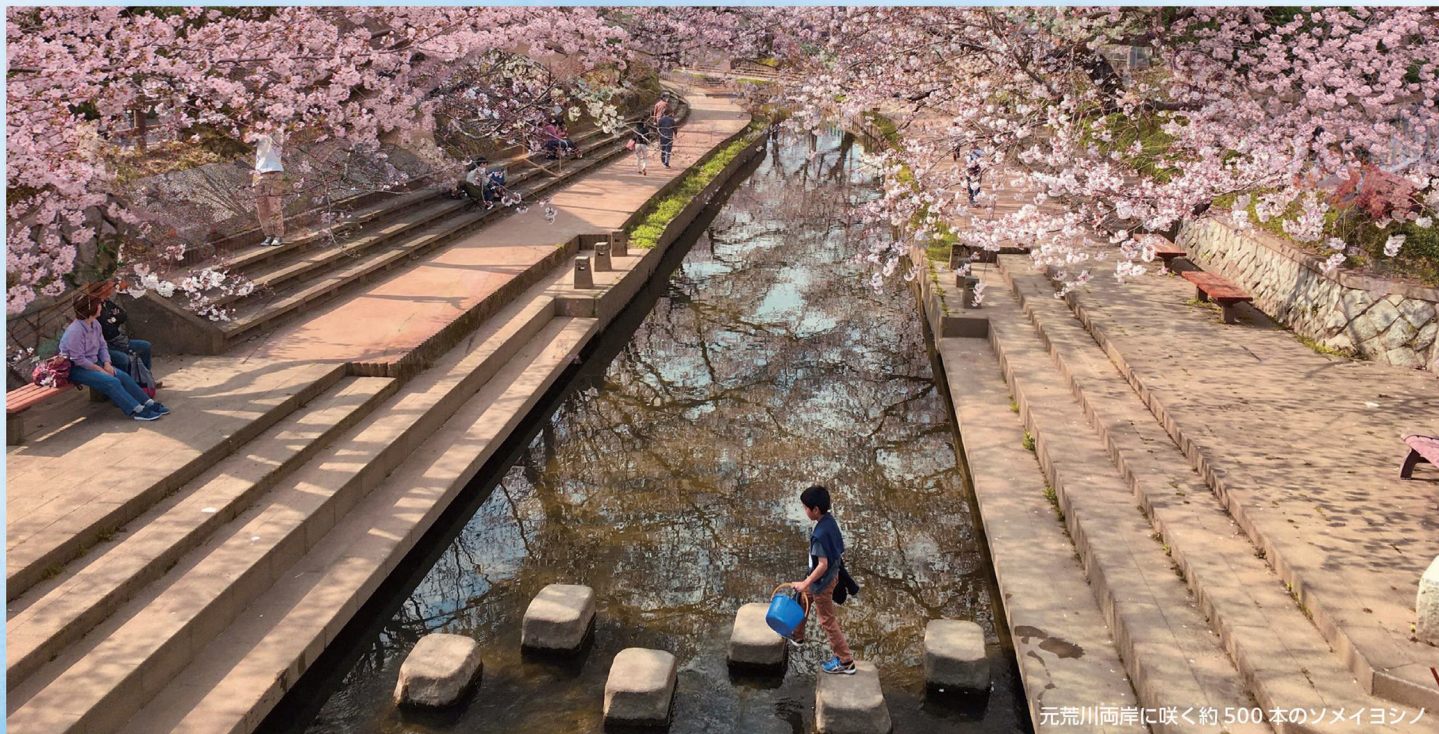


13校、5園（令和6年9月末時点）を芝生化。こどもたちの健康増進やけが防止、夏場の温度上昇の抑制などの効果が期待できます

こどもたちが思いっきり遊べる公園がたくさん



A：上谷総合公園 B：大間近隣公園（大間見晴らしの丘） C：せせらぎ公園
D：荒川パノラマ公園 E：川里中央公園



元荒川両岸に咲く約 500 本のソメイヨシノ



約 12.5ha の日本一広いポピー畑



春と秋に見頃を迎える「花久の里」のバラ



吹上支所
吹上生涯学習センター
吹上児童センター
吹上図書館



川里支所
川里生涯学習センター
川里児童センター



市役所付近の上空から撮影（令和5年10月）



City Data

人口・世帯数

令和6年1月1日

117,582人  52,849世帯 67.44km²

 男 58,212人

 女 59,370人

地目別土地面積

令和5年1月1日



花き作付け状況 (出荷量)

統計こうのす
(令和4年版)

鉢もの 約 1,444 千鉢 / 花壇用苗もの 約 18,162 千株



鴻巣市の一日 (記載の無いものは全て、令和5年)



出生
1.7人



死亡
3.9人



転入
13.0人



転出
11.3人



婚姻
0.8組



離婚
0.4組



ゴミ
86.6t
(令和5年度)



上水道
32,254m³
(令和5年度)

鉄道乗客人数 (令和5年度)



JR鴻巣駅 17,406人
JR北鴻巣駅 6,495人
JR吹上駅 7,783人



火災
0.08件



交通事故(人身)
0.7件

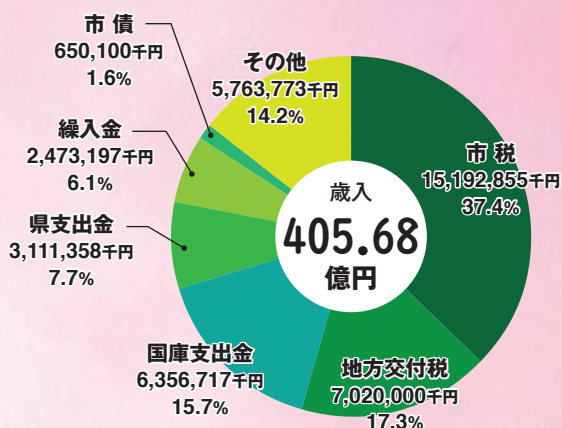


刑法犯罪
発生 1.7件

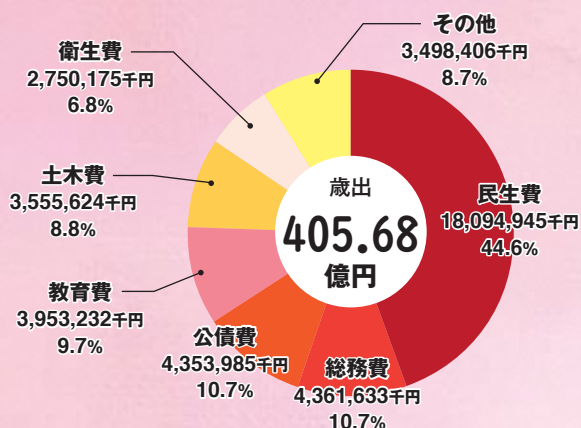
財政

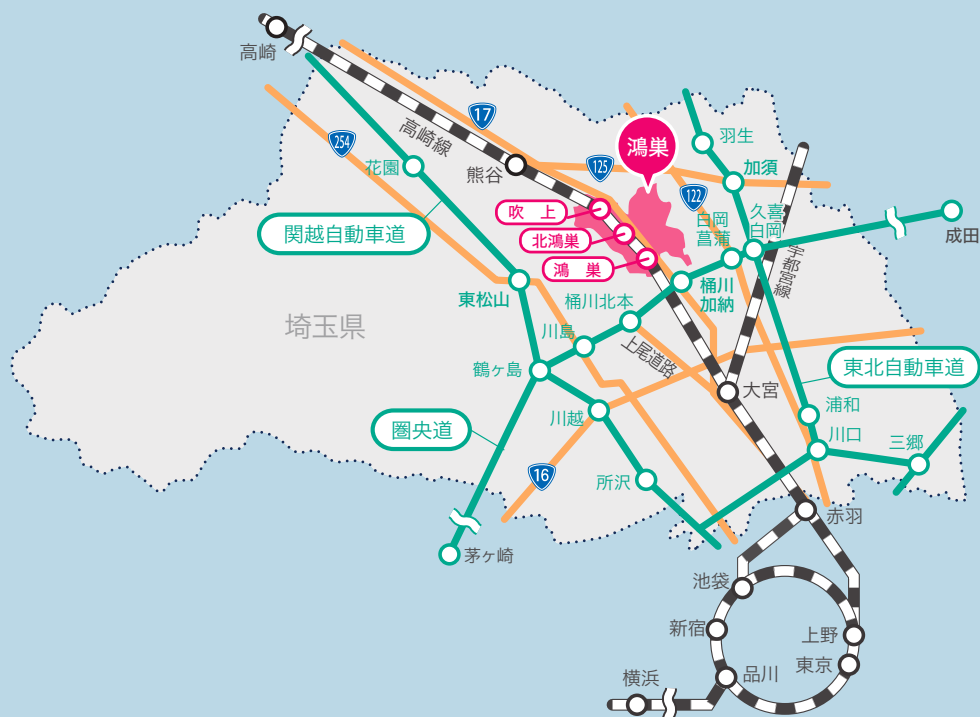
令和6年度一般会計・当初予算

一般会計 歳入



一般会計 歳出



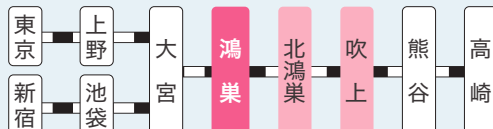


Access



電車 Train Access
でのアクセス

JR上野東京ライン：東京から約56分



JR湘南新宿ライン快速：新宿から約50分



自動車 Car Access
でのアクセス

[東北自動車道] 加須ICから約30分

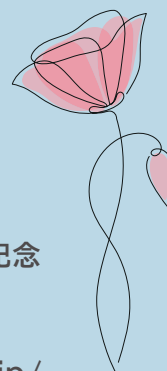
[関越自動車道] 東松山ICから約30分

[圏央道] 桶川加納ICから約16分

Home
page



SNS



令和6年10月 鴻巣市市制施行70周年記念

〒365-8601 埼玉県鴻巣市中央1番1号

TEL/048-541-1321 FAX/048-542-9818

<https://www.city.kounosu.saitama.jp/>